

# ミウズ

No.38 | 2022 春

一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会の実現を目指して

## みんなで学ぶ「生理の貧困」～性に関わる健康や権利について～ 講師 谷口 歩実さん（#みんなの生理共同代表）

配信期間3/15（火）9：00～3/31（木）20：00

谷口さんは大学在学中に生理用品を軽減税率対象にする署名キャンペーンを立ち上げたのをきっかけに、すべての人の生理に関するニーズが満たされ、誰もが「自分らしく」暮らせる社会を目指し「#みんなの生理」という任意団体を立ち上げ、生理に関する不平等を解消すべく日々活動中です。コロナ禍で経済的な理由などにより生理用品を入手できないという「生理の貧困」が表面化し、その背景にある社会の男女の不平等についてお話を伺いました。

学校のトイレに生理用品の設置を求める署名活動をし、東京都や多くの自治体の公共施設や学校のトイレに生理用品を設置する事が決まっています。

祖母は若い時、生理用品を買うか、翌日の朝ご飯のためにお金を使うか選択をせまられていました。60年以上前の話しですが、自動車の自動運転やパソコンの進化など、技術が進んでいるのに生理に関する問題は何も変わっていません。

「生理アクティビズム（社会運動）」とは生理のタブーに対抗し、生理を経験するすべての人が健康で幸せな人生を送るためのサポートを得ることを主張する運動です。

消費者運動などと連帯し企業に独占されない自分たちの手で生理用品を作ったり、そもそも使用しないなどのスタンスを取ったりする活動も起きてきました。自分で自分の身体のことを決められるのか、様々な選択肢がすべての人に平等に保障されることが重要で、生理アクティビズムは身体の自己決定権をより強固に出来ると考えます。

生理の貧困という個人的なことを政治的なアジェンダ（検討課題）に挙げていく事が重要です。背景にある生理のスティグマ（差別、偏見）、その奥にある性のタブー、性教育の忌避等はそもそも意思決定の場に女性がいれば起こらなかったことかと思えます。その背景には女性がいつも二次的なポジションであるという固定的なジェンダー観があります。生理の貧困も男女の賃金格差が寄与しています。その背景には男性をモデルとした労働形態があり、固定的なジェンダー観を基に生まれているのが見えてきます。

「生理の貧困」はコロナ対策の一環とされているため、一過性の取り組みになりかねません。そのためにも生理用品の軽減税率適用や学校・公共施設のトイレへの恒常的な生理用品設置を求めています。

経済的な要因のみが「生理の貧困」の引き金とされているため、その他の理由で生理用品や生理における情報やケアなどにアクセスできない人々のニーズが不可視化される可能性があります。窓口配布ではプライバシーが尊重されないので、誰もがいつでもどこでも誰かに伝えずとも入手できるように生理用品をインフラの一つとして捉え、遠慮なく使用できる環境の構築が必要だと思えます。



# 神田 茜 私らしく輝く場所のみつげかた～カメのように一步一步～

2021年12月15日(水)～12月28日(火) 期間限定YouTube配信 



北海道帯広市出身の 講談師 神田 茜さんにこれまでの人生の歩みについてお話を伺いました。昭和60年に2代目神田山陽さんに入門、平成7年に真打に昇進、現在は作家としても活躍中です。

## 第1部(対談) ◆講談界に入ったきっかけは？

高校卒業後上京し、服飾の専門学校に入ったが挫折。引きこもり生活中に偶然テレビで講談界の前座募集を見て、この世界に飛び込みました。長い間女性が全くいない男の世界でしたが、たまたま当時8人ぐらい女性の先輩がいて、そのお姉さんたちがガラスの天井を破ってくれていたおかげでそれほど苦労はありませんでしたね。

入門3～4年は、前座修行といって楽屋につめて寄席や講談の席で先輩のお世話をしたり、着替えを手伝ったり、お茶を出したり、高座の舞台進行をしたりと下働きをする時期があります。すごく大変でしたが、男性も女性も体験することなので耐えられました。

二つ目になって仕事が見つからず、もう辞めようと思った時、アルバイト経験の失敗談を物語にして話してみたら、お客さんが笑ってくれました。そこで快感を覚え、新作講談を作り始めました。講談は、男の人が守ってきて男の人が顔付けと出して出す人を決めている世界です。男の人に使ってもらおうとすると、どうしても男の人を引き立てるような芸しかできないし、男の人に気に入ってもらおうとすることしかできないと思うので、私はそういう所で気に入られようとか活躍しようとは思いません。このような場に呼んでもらうこともすごく嬉しいですし、同世代の女性に聞いてもらえる話をこれからもしたいなと思っています。



## ◆小説を書き始めたきっかけは？

小説は新作講談を作る延長で書いただけです。子育て中、子どもの父親は何も生活が変わらないのに、私の生活は180度変わってしまったんです。そんなストレスを小説に書くことで、少し気持ちが楽になりました。「七色結び」はPTA活動で苦労したことも書いています。結婚・出産・離婚も経験しましたが、全部小説を書く上で役立っています。最後に、私が偉そうに言えることは何もないですが、歳をとっても体の冷蔵庫の扉を開けたら何か残っているかもしれない、残った物でうまいこと料理をして生きていく、それで充分なのではないかと思っています。素敵に生きている人にばかりに目がいて、自分もこうしなきゃと思いがちですが、そうじゃない人の方が多いですし、素敵にキラキラ生きていない人の方が多いですから、人と比べなくていいと思いますね。

## 第2部(新作講談)

「幸せの黄色い旗」バスガイドさんは10～20代前半の若い方が多いが、もしも80代のバスガイドさんがいたら…

「赤穂義士伝 スキスキ金右衛門様」岡野金右衛門という色男が、吉良邸の絵図面(見取り図)を手に入れるため 酒屋のふりをして、お客で来ていた 吉良家の大工の娘をそそのかし 絵図面を手に入れようとする話。娘は絶世の美女という設定が多いが、娘が美人ではなかったら…

「初恋閻魔」いろいろな地方の閻魔大王を調べると、怖い顔ばかりではなく、様々な表情の閻魔様がいる。このことを踏まえて、あるたくましい主婦が、何度もあの世に行きかかっては戻ってくるというお話。

## 講座報告

# 多様性が認められ活かされる職場になるために ～パワハラ・セクハラを考えてみませんか？～ (オンライン講座)

令和3年11月24日(水)～11月30日(火) [配信] 講師：宮腰 直子さん(弁護士)

近年の経済格差の広がりや通信技術の進歩などもあり、職場におけるハラスメントの問題が多くなっています。事業主は、労働者が性別にかかわらず、個々の能力を発揮して働くことができる安全な職場環境を提供する義務があります。

ハラスメントとは何か、その概念や法律上の定義を学び、職場でのパワーハラスメント、セクシャルハラスメントの防止、またハラスメントが起こった時に事業主として講じるべき対策等についてお話いただきました。





# 『身近に考えるジェンダー問題』から

(R3.12.6~12.12放送)

質問に回答下さったのは城西国際大学准教授の遠藤恵子さんです。

**Q** 日本は男女の格差が120位と伺いました。これはなんの数値でしょうか？

**A** それは「世界経済フォーラム」が公表した「ジェンダー・ギャップ指数」の順位です。「ジェンダー・ギャップ指数」とは、政治・経済・教育・健康の4分野14項目における「男性に対する女性割合」、男女比からつくられ、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。日本の順位が低い理由は、政治・経済分野の女性の参画の遅れによるものです。「政治参画」分野の指数は「0.061」ときわめて0に近く、156か国中147位です。これは、「国会議員」「閣僚」「最近50年における行政府の長の在任年数」の3項目から算出しています。日本は、衆議院議員や大臣の女性割合が約1割と低く、また過去に女性首相がいなかったことが原因です。「経済参画」分野は117位。この分野は5項目から算出していますが、管理的職業従事者の女性割合が低いことがとくにきわだっています。

ジェンダーギャップ指数(2021) 上位国及び主な国の順位				
順位	国名	値	前年値	前年からの順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓	0.687	0.672	6
107	中	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

**Q** 世界的にみて、日本は男女格差が大きいんですね。でも、なぜこの格差を埋める必要があるのでしょうか。

**A** 女性も、男性も、ひとりひとり対等に、自分らしく生きるためには、人権尊重にもとづく、ジェンダー平等の実現が必要だからです。歴史上、女性、男性に期待された社会的役割などによって法律・政治上、社会上、経済上の障壁、壁ができていました。これに対し、女性たちは、ひとりひとり対等に、自分らしく生きられるように、壁を取り除くことを求めてきました。日本では、1979年の「女子差別撤廃条約」をふまえて、1985年に男女雇用機会均等法が制定されました。職場上の女性差別撤廃、女性の就業は後押しされたといえるでしょう。しかし、格差や課題はいまも残っており、その壁の撤廃への取組がさらに必要です。近ごろ注目されている「SDGs」の目標にも、ジェンダー平等の実現と女性のエンパワーメントがあります。女性のエンパワーメントとは、壁を取り除くだけでなく、女性が自分の人生を自分で決めながら生きる力を身につけられるようにすることです。

**Q** でも、どうして、今もなかなか進まないのでしょうか。

**A** はい。とくに、次の2つが原因で、喫緊の課題であると思います。ひとつは、意思決定の場への女性の参画です。政治・経済・社会の何かを決める場に、女性が男性と同じように参加したり、リーダーになったりすることは、世界各国の課題です。あらゆる場において、壁を取り除く取組を進めるためにも、何かを決める場に女性が男性と同じように参加できるようにする必要があります。



もうひとつは、固定的な性別役割分担意識の解消です。

内閣府の世論調査をみると「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方に反対する割合は年々大きくなり、性別役割分担意識は弱まっているとも言えるかもしれません。

しかし、時間の使い方をみると男性が家事やケアにかかわる時間が少なく、男女差が生じています。国際的にみると家事やケアなどの無償労働時間の男女比は、多くの国で男性1に対して女性2程度ですが、日本は女性5.5とさらに大きな開きがあります。

このような状況が生じる原因には、日本の職場組織が男性の長時間労働を前提にしがちにあるでしょう。

また、意思決定の場に女性の参加が進まない原因も、女性が意見を出すことを好ましくないとする思い込みが壁をつくっているのではないのでしょうか。



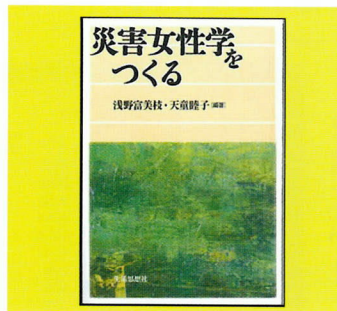


## おすすめ図書



### 『災害女性学をつくる』

浅野富美枝・天童睦子 編著  
生活思想社



東日本大震災から10年、新たな学問が始まる！ジェンダー視点による災害研究はまだ発展途上。その中で、宮城や日本各地でこの10年に女性主体で活動してきた市民団体の実践、災害研究を丁寧に辿り、「災害女性学」というあらたな学問分野を切り拓いた一冊。

### 『存在しない女たち』

男性優位の世界にひそむ  
見せかけのファクトを暴く

キャロライン・クリアド＝ベレス 著  
神崎朗子 訳 河出書房新社



データにおけるジェンダーギャップが常識とされ、女性たちにどのような害を与えてきたかを暴露する本。公衆トイレから最新家電、医療、税金、災害現場まで、一見「公平」に見える場所に隠された思いもよらない男女格差とは。

### 『レッド』

あかくてあおいクレヨンのはなし

マイケル・ホール 著 上田勢子 訳  
子どもの未来社



アメリカで数々の賞を受賞、アメリカ図書館協会のレインボーリスト（LGBTの青少年向け推薦図書）にも選ばれました。本当は青いクレヨンなのに赤いラベルをはられた「レッド」。多様性をクレヨンの色で表すアイデアで年齢を超えて理解され、自分自身を発見することがいかに大切かを話し合うきっかけとなる絵本です。

今回ご紹介した図書は、男女平等参画推進センターミウズに配架してあります。どうぞご利用ください。



## 女性のための相談

ひとりで悩まないで、一緒に考えましょう

女性が抱える様々な悩みや不安に対し、解決の道を探るための1対1のカウンセリングです。専門の女性相談員が応じます。（秘密厳守）

無料

毎週金曜日 午前10時～午後3時  
（第3金曜日は午後3時～午後8時）

ご予約が必要です

☎043-460-2580

佐倉市男女平等参画推進センターミウズ

## 指定管理者制度導入施設 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ

〒285-0837 佐倉市王子台1-23  
レイクピアウスイ3階



- 開館時間 9:00～20:00
- 休館日 毎月第4水曜日  
年末年始（12/29～1/3）
- 施設案内
  - \* 学習室
  - \* ミーティングスペース
  - \* 図書コーナー  
（市内図書館オンライン）
  - \* インターネット利用
  - \* 女性のための相談

Man(男性)

Equality(平等)

Woman(女性)

Square(広場)

<http://mews.shiteikanri-sakura.jp> E-mail:info@mews.shiteikanri-sakura.jp

TEL.043-460-2580 FAX.043-460-2582

ミウズ No38 2022 春 令和4年3月発行

編集・発行 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ 指定管理者 株式会社明日葉